

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの
新刊

『曙光を旅する』

著/葉室 麟
出版社/朝日新聞出版

2017年急逝した著者が、九州から京都を中心に旅した最後のエッセイ。作品の構想を綴った初公開の「葉室メモ」も収録されています。



『100歳まで元気！ おいしく健康300レシピ』

著/岩崎 啓子
出版社/主婦の友社

めざせ長寿！血管・血圧・血糖値・筋力・免疫力・腸活など、10分野に効く健康的な献立を管理栄養士の著者が300品提案しています。



『楽しい哀しい 昭和の子ども史』

著/小泉 和子
出版社/河出書房新社

平成から新たな時代へと移り変わろうとしている今、古き良き昭和の思い出を振り返る一冊。あの頃子どもだった大人たちの懐かしい「昭和」を、豊富な図版で紹介しています。



『ぬかどこすけ！』

作/かとう まふみ
出版社/あかね書房

入れ物の“かめ”の中には野菜と、ぐちゃぐちゃなもの…。おいらは毎日毎日かきまぜられる、ぬかどこになる！ぬかづけのおいしさの秘密が描かれた絵本です。



『つきーとカーコのけんか』

作/おくはら ゆめ
出版社/佼成出版社

100回けんかしても100回仲直りしよう。ねこのつきーとからすのカーコは、赤ちゃんのときから一緒の友だち。ある日、どんぐり拾いをしてきたカーコと出会ったつきーが自分もどんぐり拾いはじめると…。



『にぎやかなおでん』

文/犬飼 由美恵
絵/出口 かずみ
出版社/教育画劇

「畑にいたころがなつかしいなあ〜！」「いや〜、海のなかは最高でしたぜ！」…。だしぶろに浸ったおでんたちの自慢合戦はエスカレートしていき…。あつたかくて美味しそうで、味わいっばいのユーモア絵本。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	3日以外の日曜 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	13日(水) 午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」(COLAS平戸ホール) 『ウンベルトD』(イタリア:89分)	9日(土)・28日(木) 午後2時～
	ライブラリーコンサート(平戸図書館) 「町田慈之さんによるトランペットの演奏」音楽の夕べをどうぞお楽しみ下さい。(予定)	23日(土) 午後7時～
永田記念図書館	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	毎週土曜 午後2時～

今日の休館日 永田記念図書館：5日(火)、12日(火)、19日(火)、24日(日)、26日(火)

各図書館・図書室連絡先

- 平戸図書館 ☎22-4017
- 永田記念図書館 ☎28-0128
- 南部公民館図書室 ☎27-0047
- 生月支所図書室 ☎53-2111
- 田平町中央公民館図書室 ☎57-0207
- 大島村公民館図書室 ☎55-2511

※図書館よりお知らせ

蔵書点検作業のため、市内の図書館で以下の通り、休館します。ご不便をおかけしますが、よろしくお祈りします。

- ★平戸図書館
1月31日(木)～2月7日(木)
- ★永田記念図書館
3月1日(金)～3月5日(火)

各地域の食生活改善推進員が紹介します！ 23

今月のレシピ

問 健康ほけん課健康づくり班 ☎内線2546

『ウメ～、いか春巻き』

【材料(4人分)】

- 春巻きの皮・・・8枚
- 梅干し・・・2個
- イカ・・・160g
- ペビーチーズ・・・3個
- 青じそ・・・8枚
- 塩・こしょう・・・少々

【作り方】

- 1 イカ、ペビーチーズを1cm角に切る。
- 2 青じそは半分に切り、ざく切りにする。
- 3 梅干は種を取り、きざむ。
- 4 ボウルに材料を混ぜあわせ、塩・こしょうを振る。
- 5 春巻きの皮に包み、揚げる。

【栄養(1人分)】

エネルギー 249kcal たんぱく質 12.5g 脂質 14.4g 塩分 1.1g



平戸の食材で簡単に！

イカの代表的な栄養素であるタウリン。ほんのりとした甘みを感じさせるイカの旨みの素でもあります。栄養ドリンクにも含まれる成分で、滋養強壮や疲労回復の他、血圧を正常に保つ働きもあります。



田平支部 つばき会
おおのら みちこ
大浦 美知子 さん

毎月19日は「食育の日」です！

来訪者との交流から得るもの

世界遺産登録後、春日集落には多くの来訪者が訪れるようになり、前年は年間で約1500人だったのが、7月からの半年間で1万人を超えました。来訪者を迎える核となっている場所が、春日集落案内所「かたりな」です。昨年4月にオープンしたこの施設には、納戸神などが展示されているほか、地元の方々から毎日交代で来訪者をお迎えしています。特におばあちゃんたちとお茶を飲みながら、日々の暮らしのことを聞くことができる交流棟は好評で、遠方からお土産を持ってくるリピーターや、お礼のハガキや似顔絵などを郵送する来訪者

が増えています。案内所で来訪者をお迎えしている綾香和枝さんは、「春日に来るお客さまをお迎えすることにやりがいを感じている」と言い、自分あてに送られてくるハガキには返事を書いているそうです。交流を通して来訪者と住民の皆さんが相互に刺激を受ける仕組みは、愛着や共感を生み、来訪者にとっても、また訪れたい、人にも勧めたいという気持ちへとつながっていきます。域外との交流を軸に町を元気にしていく春日集落の取り組みは、豊富な地域資源を有する本市の集落が目指す地域づくりのひとつの方向性なのかもしれません。

世界遺産

vol.11

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産に関する情報をお知らせします。☎文化交流課文化遺産班 ☎内線2277

春日集落案内所かたりな



多くの来訪者が訪れ、交流を楽しんでいます。